

山根若者の会

鬼泣峠

山根で育った若者による手作り劇の復活——。山根町在住・出身の若者で組織する山根若者の会が2月9日、アンバーホールで演劇「鬼泣峠」を上演しました。劇は、同町に伝わる「うば捨て」伝説を脚本化したもので、出演者、スタッフまですべてが会員による完全な手作り。60歳になった村人を山に捨てるというしきたりを守り、自分の親を山に捨てるという悲しい物語が情感たっぷりに演じられ、会場を埋め尽くした約270人の観衆から、たくさんの拍手が浴びせられました。



市民おらほーる劇場

憑鬼の杜

山形で育った村民劇場が市全域に波及——。久慈市民おらほーる劇場「憑鬼の杜」(こむろこうじ作・演出)は2月11日、おらほーるで上演されました。人間の弱い面を引き出し殺そうとする鬼と人間との闘いを描いたこの公演は2回開かれ、約450人の来場を記録しました。昨年度までは山形村民劇場として開催されていましたが、本年度から出演者、スタッフを演劇ワークショップで市全域から募集。7月からのワークショップに参加し出演した八屋尚樹君(久慈小3年)は「練習どおり、自然に笑えるようにがんばった。有名人になった気分」と声を弾ませていました。演劇に興味のある方は、おらほーる(☎72-3711)に問い合わせください。



募集。7月からのワークショップに参加し出演した八屋尚樹君(久慈小3年)は「練習どおり、自然に笑えるようにがんばった。有名人になった気分」と声を弾ませていました。演劇に興味のある方は、おらほーる(☎72-3711)に問い合わせください。

編集後記

私事ですが、市内で開催されたコンサートに出演し、楽器を演奏する機会に恵まれました。緊張しながらも、ミスの無いようにと集中して演奏をしていると、横から「パシャッ」とカメラが！その瞬間、心が乱れミスを連発……。まずは、己の集中力の無さを反省。それにしても、取材で撮影するのは慣れたけど、撮影されるのは、いつまでたっても慣れないものですね。(中村)



山居琉星くん(2歳5カ月・左)
山居奏輝くん(6カ月・右)
(夏井町) 三上スエさんのひ孫



未就学の子どもの写真を募集します。写真と子どもの氏名などを添えて、応募ください。写真は、お返ししません。詳しくは、広報くじ担当(☎52-2116)。



山口莉乃ちゃん(3カ月)
(宇部町) 泉川ヨシエさんのひ孫